

## 使用方法

### 保存

1. 付着細胞及び浮遊細胞をそれぞれの従来の方法にて収集し、試験管に移す。
  2. 遠心分離。
  3. 上澄液をアスピレーターにて除去する。
  4. 試験管に CELLBANKER®を加える。  
(細胞  $5 \times 10^5 \sim 5 \times 10^6$  ケに対して CELLBANKER®1mL を加える)
  5. ピペッティングし十分に混合させてそのピペットにて全量を採取しクライオチューブに分注する。
  6. クライオチューブを $-80^{\circ}\text{C}$ ディープフリーザにて十分に凍結させる。  
(そのまま $-80^{\circ}\text{C}$ で保存する)
  7. 必要に応じ $-196^{\circ}\text{C}$ 液体窒素に移す。
- ※上記の 5 と 6 の操作はなるべく迅速に行ってください。

### 融解

1. 凍結しておいたクライオチューブ（細胞）を  $37^{\circ}\text{C}$  恒温槽中にて振りながら迅速に融解する。
2. 直ちに培養に使用する培地 10mL 程度で 1 回遠心分離する。
3. 上澄液を吸収除去し、培地適量で細胞を懸濁する。
4. 必要の量の培地を添加して培養容器に移す。
5. 常法にて培養する。

### 製法貯蔵法

本保存液は、通常  $2-8^{\circ}\text{C}$  で保管して下さい。長期間保管する場合は凍結して下さい。凍結と融解を繰り返すと性能が低下する恐れがありますので、一度融解したものは使用量に合わせて分割し凍結保存するか、 $4^{\circ}\text{C}$  で保管することをお奨めいたします。